【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2008-249369(P2008-249369A)
【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【年通号数】公開・登録公報2008-041
【出願番号】特願2007-88032(P2007-88032)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｒ　33/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　43/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　43/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｒ　33/02　Ｄ
Ｈ０１Ｌ　43/00
Ｈ０１Ｌ　43/08　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月24日(2010.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７６】
媒体２３０は磁性材が一定の間隔で配置されたもので、磁性材料を加工したものの他、磁性薄膜のパターンや磁気インク等の印刷で形成されたものでも良い。媒体２３１が磁性体検出センサ１に対して相対的に移動することにより出力Ｖｏｕｔが変化し、参照電圧Ｖｒｅｆを基準としてコンパレータ３５により出力変化をパルス化する。そのパルス信号をカウンタ３６でカウントすることによりエンコーダとして動作する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８７】
図１９（ｂ）の例では、予めメモリ３８に媒体の種別毎に正規の波形データが記憶されている。磁性体検出センサ１からの出力信号は同様にＡ／Ｄコンバータ３７を介してデジタル信号でＣＰＵ３９に取り込まれ、ＣＰＵ３９の比較部４３で検出波形とメモリ３８の媒体毎の波形を比較することで媒体の種別判定を行う。